



学力調査結果から

校長 前田 倍成

◇ 学力調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。



【全国学力・学習状況調査】

〈6年生 国語科〉

- 文章を読み取り、選択肢の中から正しい文を選択する力
- ▲漢字を使って書き直す際の知識・理解
- ▲複数の資料を基にして正しいものを全て選択する力

〈6年生 算数科〉

- 立方体の体積を求めるための式を立てる力
- ▲複数の条件を基にして正しい解を導き出す力
- ▲帯グラフに関する知識・理解
- ▲データから情報を読み取り、精査して活用する力

【県基礎学力調査】

〈6年生 理科〉

- メダカの雌雄の見分け方や、水を温めたり冷やしたりしたときの様子に関する知識・理解
- 電気を通すものについての知識・理解
- ▲実験の際に着用する用具に関する知識・理解
- ▲急な沸騰を防ぐための物質に関する知識・理解

〈6年生 社会科〉

- 灯台を表す地図記号に関する知識・理解
- 題意に沿って資料から数値を読み取る力
- ▲地図帳や定規を用いて正しい距離を計算したり推測したりする力
- ▲複数の資料を相互に関連付けながら正解を導き出す力

〈6年生 外国語科〉

○短い会話を聞いて、選択肢の中から正しい答えを導き出す力〔リスニング〕

▲聞き取ったアルファベットを書く力（特に小文字）〔ライティング〕

▲資料を基に、題意に一番合った適切なものを選択する力



【県基礎学力調査】

〈4年生 国語科〉

○「書くこと」領域が、県比7.6P高い

○文章を読み取り、文章中の言葉から資料に当てはまるものを見つけて書く力

○修飾語に関する知識・理解

▲漢字の書き順、主・述語に関する知識・理解

▲文章中から題意に沿った文を選択する力

〈質問紙調査～「自己肯定感」に係る項目〉

※数値は肯定的評価（）内はR8県平均

□自分にはよいところがある

6年生：85.0% 4年生：88.6%
(85.3%) (83.6%)

□先生はあなたのよいところを認めてくれる

6年生：90.0% 4年生：86.0%
(91.4%) (87.9%)

□将来の夢や目標をもっている

6年生：75.0% 4年生：88.7%
(78.7%) (85.6%)

□学校に行くのは楽しい・学校は好きだ

6年生：89.1% 4年生：92.4%
(85.9%) (88.7%)

〈4年生 算数科〉

○「図形」領域が昨年に引き続き県比8.1P高く「データ活用」領域も県比6.6P高い

○観点別では思考・判断・表現が県比7.1P高い

▲かさの適切な単位を選択する力

▲3位数+3位数や小数+整数の計算に関する知識・技能

毎年実施されている国・県学力調査の結果は、当該学年の学力の現状を示すと同時に、これまで子どもが実践してきた授業改善、学力向上の取組の評価でもあります。こうした調査結果は学力の特定の一部や教育活動の一側面を見るに過ぎませんが、子どもたちの現状を確認できたことは、今後の教育活動の改善にとって大変有意義なことです。

子どもたちが学力、資質・能力をよりよく獲得することは、子どもそれぞれが将来の選択肢を広げることにつながります。この結果を精査し、改めて授業改善を進め、資質・能力向上に努めてまいります。

—— 受賞、おめでとうございます！ ——

【第12回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会】

シンクロナイズド競技小学生低学年女子 第3位 3年生 瀧川 あさひ

(羽咋ジュニアトランポリンクラブ)

【第1回中能登U-10フレンドリーカップ大会】

第3位 志賀ミニバスケットボールクラブ



—— 保護者の皆様へ ——

◇ 再掲 こころの不安 ※主な相談窓口等については前号の『七つ星』(HPにも)を参照ください

これまでも学校だよりで折に触れお知らせしてきましたが、子どもが自ら命を絶つ事態には「学校の長期休業明けにかけて増加する傾向」があります。

このあってはならない事態を予防し、尊い命を救うためにも、気になることや心配なことがある場合は、いつでも学校にご相談いただけるようお願いいたします。